

**X M L コ ン ソ ー シ ア ム**

**第 8 回 総 会**

**議 案 書**

**2008 年 5 月 23 日 (金)**

**於 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社**

## 目 次

第 1 号議案 2007 年度活動報告の件	
・ 活動実績 .....	1-1
第 2 号議案 2007 年度収支報告の件	
・ 収支計算書.....	2-1
・ 貸借対照表・財産目録.....	2-2
・ 監査報告書.....	2-3
第 3 号議案 会員規約改定の件	
・ 会員規約改定について.....	3-1
第 4 号議案 2008 年度活動計画承認の件	
・ 2008 年度活動方針.....	4-1
・ 2008 年度年間主要活動計画 .....	4-5
第 5 号議案 2008 年度予算計画承認の件	
・ 予算計画 .....	5-1
第 6 号議案 2008 年度 理事 / 監事選任の件	
・ XML コンソーシアム役員構成.....	6-1

## 第 1 号議案

2007 年度活動報告の件

XMLコンソーシアム

## 1. 活動実績

1. 会員数 : 2007年6月8日(総会時) 法人会員:161 会員(特別会員1 会員を含む)  
2008年3月31日 法人会員:167 会員(特別会員1 会員を含む)

### 2. 活動実績

#### 1) 総会

##### ・第7回総会開催

開催日時 2007年6月8日  
開催会場 日立ソフトウェアエンジニアリング 日立ソフトタワーA 4F 講堂  
参加者数 78社 108名

#### 2) 理事会 : 開催 2回、ML 審議 4回

2007年4月度(ML 審議) 2007年5月度(ML 審議) 2007年6月8日  
2007年11月度(ML 審議) 2007年11月度(2)(ML 審議) 2008年1月17日

#### 3) 運営委員会 : 開催 10回、ML 審議 13回

2007年4月12日 2007年4月度(ML 審議) 2007年5月10日  
2007年5月度(ML 審議) 2007年5月度(2)(ML 審議) 2007年6月度(ML 審議)  
2007年6月度(2)(ML 審議) 2007年7月12日 2007年7月度(ML 審議)  
2007年8月度(ML 審議) 2007年8月度(2)(ML 審議) 2007年8月度(3)(ML 審議)  
2007年9月13日 2007年9月度(ML 審議) 2007年10月18日  
2007年10月度(ML 審議) 2007年10月度(2)(ML 審議) 2007年11月8日  
2007年11月度(ML 審議) 2007年12月13日 2008年1月17日  
2008年2月14日 2008年3月13日

#### 4) セミナー、イベント開催 : 3回

・部会紹介セミナー(1回) 2007年7月11日  
・XML コンソーシアムセミナー(1回) 2007年10月3日  
・XML1.0 勸告10周年記念イベント「XML Today & Tomorrow」(1回) 2008年3月5日  
・延べ参加者数  
総数 249社 364名  
会員 123社 220名  
非会員 123社 141名  
プレス 3社 3名

#### 5) 部会活動成果発表 : 2回

・第6回 XML コンソーシアム Week(部会成果発表会) 2007年5月14日 - 16日、18日、21日、22日、6月19日 計7日間  
・第9回 XML コンソーシアム Day(部会中間成果発表会) 2007年12月4日、6日、7日 計3日間  
・延べ参加者数  
総数 257社 426名  
会員 168社 300名  
非会員 85社 120名  
プレス 4社 6名

#### 6) 部会活動

・部会リーダー・ミーティング 月次  
・部会開催 月次  
・部会登録者数(2008年3月31日現在) 登録者数  
SOA 部会 58社 117名  
ビジネス・イノベーション研究部会 51社 81名  
Web サービス実証部会 40社 72名  
セキュリティ部会 39社 56名  
Web2.0 部会 57社 95名  
クロスメディア・パブリッシング部会 18社 23名  
ユビキタス Web 部会 27社 42名  
ContactXML 部会 15社 25名  
TravelXML 標準化部会 22社 35名  
コンテンツ利用情報標準化部会 19社 28名  
関西部会 18社 31名  
XMLDB 部会 45社 95名

-----  
合計

409 社 700 名

7) 勉強会開催: 15 回

- ・XML マスター勉強会 2007 年 9 月 27 日、11 月 28 日、2008 年 2 月 21 日
- ・内部統制勉強会 2007 年 4 月 11 日、5 月 8 日、6 月 12 日、7 月 17 日、8 月 7 日、9 月 4 日、10 月 3 日、11 月 7 日、12 月 5 日、2008 年 1 月 9 日、2 月 6 日、3 月 5 日

8) 勉強会参加人数・登録者数

- XML マスター勉強会 46 社 66 名(参加人数)
- 内部統制勉強会 21 社 30 名(登録者数)

9) 書籍発行

- ・「VoiceXML 入門からアプリ開発・応用まで」発行:リックテレコム 2007年 5月13日

10) 成果物公開

- ・「エンタープライズ・システムのためのWeb 2.0」提言書 Web2.0部会 2007年 6月 15日
- ・「製造情報連携フォーラム SCF2007 デモシステム向けセキュリティ検討報告書」 セキュリティ部会 2007 年 11 月 12 日

11) 外部団体との協業関係(順不同)

- ・アライアンスパートナー
  - XBRLJapan
  - 次世代電子商取引推進協議会
  - 製造業 XML 推進協議会
  - 社団法人 日本旅行業協会
  - 特定非営利活動法人 UML モデリング推進協議会
  - 特定非営利活動法人 ITS Japan
  - ものづくり APS 推進機能 / PSLX フォーラム
  - XML 技術者育成推進委員会
  - 社団法人 日本印刷技術協会

-----  
・標準化支援

- 社団法人 日本旅行業協会
- ・Web サービス実証実験
  - 財団法人 日本道路交通情報センター
- ・ユビキタス組込み
  - YRP ユビキタスネットワークング研究所
- ・マーケティング活動支援
  - W3C
  - 慶応義塾大学 SFC 研究所
  - WS-I JSIG
  - OMG
  - DOPG
- ・情報交流・交換
  - 情報処理学会デジタルドキュメント研究会
  - ビジネスモデル学会

12) 外部主催イベントに対する協賛、後援 : 15 回

- ・「Interop Tokyo 2007」後援 2007 年 6 月 11 日 - 15 日 幕張メッセ
  - 主催: Interop Tokyo 2007 実行委員会
- ・「ビジネスショウ Tokyo2007」協賛 2007 年 7 月 11 日 - 13 日 東京ビッグサイト
  - 主催: 日本経営協会・東京商工会議所
- ・「ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2007」協賛 2007 年 8 月 27 日 - 29 日 日本科学未来館
  - 主催: 情報処理学会ソフトウェア工学研究会
- ・「Modeling Forum 2007」後援 2007 年 9 月 13 日 - 14 日 大手町サンケイプラザ
  - 主催: UML モデリング推進協議会
- ・「IT ストラテジーサミット」後援 2007 年 10 月 16 日 青山ダイヤモンドホール
  - 主催: 翔泳社
- ・「JustSystems xfy Enterprise Solution Forum 2007」後援 2007 年 10 月 31 日 セルリアンタワー東急ホテル
  - 主催: ジャストシステム
- ・「丸山先生レクチャーシリーズ in 東京 2007-2008 第 1 回」特別協賛 2007 年 11 月 6 日 東京国際フォーラム
  - 主催: 稚内北星学園大学、早稲田大学
- ・「Web 2.0 EXPO Tokyo 2007」後援 2007 年 11 月 15 日 - 16 日 セルリアンタワー東急ホテル

- 主催: CMP テクノロジージャパン、オライリー・ジャパン
- ・「デジタルドキュメントシンポジウム 2007」 協賛 2007 年 11 月 22 日 日立製作所
- 主催: 情報処理学会デジタルドキュメント研究会
- ・「丸山先生レクチャーシリーズ in 東京 2007-2008 第 2 回」 特別協賛 2007 年 12 月 18 日 日立ソフトウェアエンジニアリング
- 主催: 稚内北星学園大学、早稲田大学
- ・「丸山先生レクチャーシリーズ in 東京 2007-2008 第 3 回」 特別協賛 2008 年 1 月 18 日 日本電気
- 主催: 稚内北星学園大学、早稲田大学、日本電気
- ・「ソフトウェアジャパン 2008」 協賛 2008 年 1 月 29 日 東京ステーションコンファレンス
- 主催: 情報処理学会
- ・「ビジネスモデル学会 第 9 回 KM 研究会」 後援 2008 年 2 月 7 日 サンシャイン文化会館
- 主催: ビジネスモデル学会ナレッジマネジメント研究会
- ・「Developers Summit 2007」 オフィシャルコミュニティ 2008 年 2 月 13 日-14 日 目黒雅叙園
- 主催: 翔泳社
- ・「丸山先生レクチャーシリーズ in 東京 2007-2008 第 4 回」 特別協賛 2008 年 2 月 28 日 日立製作所
- 主催: 稚内北星学園大学、早稲田大学

13) 外部セミナー等での講演: 8 回 8 名、1 部会

- ・「製造業XMLフォーラム2007」 2007年 6月11日 大田区産業プラザ
- 「XMLコンソーシアム最新情報」
- XMLコンソーシアム副会長 田原春美氏(日本アイ・ピー・エム)
- ・「Modeling Forum 2007」 2007年 9月13日 大手町サンケイプラザ
- 「業務で役に立つサービスの分析方法」
- ビジネス・イノベーション研究部会リーダー、SOA部会 牧野友紀氏(日本ユニシス)
- ・ 同
- 「XMLデータベースによる不確定モデルへの挑戦と企業コンテンツ2.0」
- XMLDB部会リーダー 加藤哲義氏(ジャストシステム)
- ・「JustSystems xfy Enterprise Solution Forum 2007」 2007年10月31日 セルリアンタワー東急ホテル
- 「新しい酒は新しい革袋に盛れ ~ xfy とXMLDBが実現するXMLの意義 ~」
- XMLDB部会リーダー 加藤哲義氏(ジャストシステム)
- ・「システムコントロールフェア2007」 2007年11月13日、15日 東京ビッグサイト
- 「製造業のシステム間連携デモに対するセキュリティ調査報告」
- セキュリティ部会リーダー 松永豊氏(東京エレクトロン デバイス)
- ・「PAGE2008ジョイントイベント」 2008年2月6日 文化会館
- 「XMLコンソーシアムWeb2.0部会でマッシュアップ」
- Web2.0部会
- ・「VEC(Virtual Engineering Company)協賛セミナー公開講座」 2008年2月26日 メルパルク東京、28日 メルパルク大阪
- 「合同デモから、工場内ネットワークのセキュリティの構造ポリシーを考える」
- セキュリティ部会リーダー 松永豊氏(東京エレクトロン デバイス)
- ・「平成20年度総会イベント(クロスメディア講演会)」 2008年2月28日 日本教育会館
- 「出版社へのクロスメディアソリューション提案」 ~ 負の連鎖の中で、クロスメディアができること ~
- クロスメディア・パブリッシング部会リーダー 藤原隆弘氏(イースト)、伊藤琢巳氏(共同印刷)

14) 取材対応、原稿執筆

- ・取材対応
- 「エンジニアtype」(キャリアデザインセンター)
- XMLコンソーシアム副会長 田原春美氏(日本アイ・ピー・エム)
- 「DBマガジン」(翔泳社)
- XMLコンソーシアム副会長 田原春美氏(日本アイ・ピー・エム)、XMLDB部会 加藤哲義氏(ジャストシステム)、藤春康弘氏、村垣委久夫氏(日立システムアンドサービス)
- 「@IT 自分戦略研究所 コミュニティ活動支援室」(アイティメディア)
- XMLコンソーシアム副会長 田原春美氏(日本アイ・ピー・エム)、Webサービス実証部会リーダー 松山憲和氏(PFUアクティブラボ)、Web2.0部会リーダー 野村直之氏(メタデータ)、セキュリティ部会リーダー 松永豊氏(東京エレクトロン デバイス)、クロスメディア・パブリッシング部会リーダー 藤原隆弘氏(イースト)、XMLDB部会 村垣委久夫氏(日立システムアンドサービス)
- ・原稿執筆
- 「IA japan Review」(インプレスR&D)
- Webサービス実証部会 松山憲和氏(PFUアクティブラボ)
- 「SOA研究 vol.1」(リックテレコム)
- ビジネス・イノベーション研究部会、SOA部会 牧野友紀氏(日本ユニシス)、坂下秀彦氏(JIEC)、芦田尚人氏(ブレインワークス)

15) プレス・リリース 3 回

- ・XML コンソーシアムの活動成果として、国内初の VoiceXML 書籍を出版 2007 年 5 月 30 日
- ・XML コンソーシアム、「エンタープライズ・システムのための Web 2.0」提言書を公開 2007 年 6 月 15 日
- ・気象庁と XML コンソーシアム 気象情報を XML 形式で提供するための仕様策定作業を開始 2008 年 2 月 1 日

16) メルマガ発行: 12回

2007年4月10日	2007年5月10日	2007年6月7日	2007年7月10日
2007年8月9日	2006年9月10日	2007年10月10日	2007年11月12日
2007年12月18日	2008年1月10日	2008年2月12日	2008年3月10日

17) Web サイト更新

- ・コンテンツ更新(日時/随時)
  - セミナー等開催案内
  - 部会開催案内
  - 協賛・後援イベント案内掲載
  - メルマガ掲載

18) アンケート実施

- ・「活動アンケート」、「XML & Web サービス普及度アンケート」、「SOA、Web2.0、XML データベース関心度 / 普及度アンケート」  
2007年11月
- ・アンケート結果公開  
2008年2月5日

以上

## 第2号議案

2007年度収支報告の件

XML コンソーシアム

## 収支計算書

2007年4月1日 から 2008年3月31日 まで

(単位:円)

	予算	実績	差額	備考
<b>1. 収入の部</b>				
前年度繰越	4,274,736	4,274,736	0	
年会費	16,000,000	15,950,000	50,000	会費収入
セミナー参加費	50,000	158,000	108,000	セミナー、懇親会参加費収入
雑収入	0	16,602	16,602	受取利息
<b>収入の部合計</b>	<b>20,324,736</b>	<b>20,399,338</b>	<b>74,602</b>	
<b>2. 支出の部</b>				
総会開催費	900,000	720,331	179,669	資料コピー代、懇親会費用、表彰状制作費用等
セミナー開催費	800,000	304,187	495,813	懇親会費用、看板制作費用、講師交通費等
成果発表会開催費	900,000	759,225	140,775	資料コピー代等
Web サイトリニューアル費	2,000,000	0	2,000,000	次年度実施予定
サーバー運用費	1,980,000	1,926,750	53,250	サーバーホスティング費用
部会・推進委員会支援金	500,000	0	500,000	
メルマガ制作費	840,000	840,000	0	メルマガ制作費用
活動報告書制作費用	200,000	165,375	34,625	活動報告書 CD 制作費用
業務委託費	10,080,000	10,080,000	0	事務局業務委託費用
通信費・車両運送費	480,000	499,122	19,122	TEL/FAX/データ通信費用、郵便、宅急便等の費用
旅費交通費	120,000	116,390	3,610	事務局交通費
事務消耗品費	420,000	338,166	81,834	コピー使用料、事務用品費等
雑費	360,000	291,850	68,150	アンケート集計費用、理事懇親会費用、振込手数料等
予備費	744,736	0	744,736	
次期繰越金	0	4,357,942	4,357,942	次期繰越
<b>支出の部合計</b>	<b>20,324,736</b>	<b>20,399,338</b>	<b>74,602</b>	

## 貸借対照表

2008年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>【資産の部】</b>			
現金預金	4,357,942		
流動資産合計		4,357,942	
資産合計			4,357,942
<b>【正味財産の部】</b>			
正味財産			4,357,942
(うち当期正味財産増加額)			(83,206)
負債及び正味財産合計			4,357,942

## 財産目録

2008年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>【資産の部】</b>			
現金預金	4,357,942		
普通預金	4,357,942		
三菱東京 UFJ 銀行	4,357,942		
流動資産合計		4,357,942	
資産合計			4,357,942
正味財産			4,357,942

# 監査報告書

2008年 4月22日

XMLコンソーシアム  
会長 鶴保 征城 殿

監 事

株式会社ジャストシステム

早瀬 雅之 

ピー・シー・エー株式会社

水谷 学 

私ども監事は、XMLコンソーシアム会員規約第31条に基き、2007年度(2007年4月1日から2008年3月31日まで)における会計及び業務について監査を行い、次のように報告します。

## 記

### 1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査の為、帳簿並びに関係書類の閲覧をし、貸借対照表、収支計算書、財産目録について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。
- (2) 業務監査のため関係書類の閲覧をし、業務執行について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。

### 2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、収支計算書、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法令及び規約に従って、XMLコンソーシアムの財産及び収支を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容および業務執行に関して、不正行為または法令もしくは規約に違反する事実はないことを認める。

以上

## 第3号議案

会員規約改定の件

XMLコンソーシアム

## 1. 会員規約改定について

### 1. 背景と趣旨

従来、本会主催イベント(例:XML10周年記念イベント、ユーザーシンポジウム等)の開催に当たっては、その都度、IT関連の主要メディア各社にお願いし、告知・集客や記事化のご協力をいただいていた。また、メディア各社からは、企業色を廃した汎用的な本会の活動内容や成果を高く評価いただき多くの特集記事や書籍出版が実現してきた。このような関係を本年度よりメディア・パートナーとして制度化し、定常的な協力関係を基盤に、本会の活動と成果が会員内外に広く届くように計らい、XMLおよび関連技術の利活用推進の一策とすることを提案する。

### 2. メディア・パートナーの意義

本会とIT関連メディア各社の双方にとって、次のようなメリットが考えられる。

本会にとってのメリット

- 会の活動、成果、活動メンバをよりビジブルにできる場を持てる。
- 本会主催のイベント・セミナーの告知、集客の場/対象を拡大できる。
- 一層の認知度向上による会員増強が期待できる。

メディア・パートナーにとっての意義

- 企業色を廃した汎用的な記事内容が期待できる。
- 記事素材や執筆者の発掘が容易になる。
- 本会を執筆依頼の窓口として利用できる。

### 3. 会員規約 条文の追加

(メディア・パートナー)

第52条 本会は、IT関連のメディア各社と協力しXMLおよび関連技術の利活用の推進を図る為、メディア・パートナーを設置する。

- 2 メディア・パートナーへの登録は理事会の承認を得て行なわれる。
- 3 メディア・パートナーへの登録に際して会費の徴収はしない。
- 4 メディア・パートナーによる議決権の行使は出来ない。
- 5 メディア・パートナーは予め理事会の了解を得て、運営委員会およびその下部組織である委員会に参加することができる。
- 6 メディア・パートナーは予め理事会の了解を得て、部会活動に参加することができる。

\*\*\*\*\*

【参考：会員規約抜粋】

(アライアンス・パートナー)

第46条 本会は、他団体との連携を通して相互理解とお互いの活動の協調を図る為、アライアンス・パートナーを設置する。

- 2 アライアンス・パートナーへの登録は理事会の承認を得て行なわれる。
- 3 アライアンス・パートナーへの登録に際して会費の徴収はしない。
- 4 アライアンス・パートナーによる議決権の行使は出来ない。
- 5 アライアンス・パートナーは予め理事会の了解を得て、運営委員会およびその下部組織である委員会に参加することができる。
- 6 アライアンス・パートナーは予め理事会の了解を得て、部会活動に参加することができる。

\*\*\*\*\*

以上

## 第4号議案

2008年度活動計画承認の件

XMLコンソーシアム

## 1. 2008年度活動方針

### 基本方針

XML 1.0の勧告からまる10年を迎えた今日、XMLあるいはXMLを実装した技術は、着実に浸透しつつあり、システム間連携の送受信データ、コンテンツ記述にXMLを用いることは半ば常識となっている。しかしながら、一度作成したXMLを異なる目的で再利用したり、段階的にノードを追加してデータの価値を高めたり、蓄積されたXMLの利活用が進んでいるとは言えない。また、XMLの動向、開発手法、事例などを参照できる資料が乏しく、利活用の実態が判りにくいのが実情であり、経営におけるXMLの重要性を広く国内の企業に説くための課題になっている。

この状況を踏まえ、XML本来の性質を引き出し、広くアピールし、利活用推進を目指すために、次年度の見直しを前提として、2008年度～2009年度に渡る施策、計画を立案する。当会の特質や活動の素地に立脚し、XMLの利活用推進に寄与する活動の集大成を図る。

#### 【XMLコンソーシアムの特質・特徴】

- (1) 中立性
- (2) 一社ではできない活動、競合関係を超えた活動
- (3) 人的ネットワークの構築
- (4) 外部組織・団体との協業
- (5) 成果物の公開

#### 【活動の柱】

- (1) 普及・啓発
- (2) 研究・実証
- (3) 標準化支援
- (4) 提言

### 重点施策

#### 1) XML 利活用推進を目指す活動の充実

2008年度～2009年度は次の活動目標の下、コンソーシアム・プロジェクトとして、あるいは部会を主体として活動を行い、この経験・知識をXML技術および利用技術に関する成果物として集大成を図り、一層の利活用推進を目指す。

#### 【活動目標】

- (1) XMLによるシステム間連携・企業間連携を広めていくための活動  
特に、公共性の高いもの
- (2) 複数部会の連携によりモデリングから実証までを実現する活動
- (3) XMLの利用環境の整備・拡充に寄与する活動

#### 【活動内容と成果物】

- (1) 気象情報のXML化、ならびに普及啓発に関する支援  
平成21年度後半からの実用化を目指す気象情報のXML化が円滑に進むよう技術的な支援を行う。かつ、同仕様の利用促進を目指し、気象庁への助言を行い、協力して普及啓発活動を行う。  
<2008年度目標> 仕様ドラフトの作成および公開の支援  
実証実験による検証作業の支援  
<2009年度目標> 完成版の作成および公開の支援  
普及啓発活動の支援
- (2) 「XMLの現状俯瞰図」のための活用実態調査  
- XML利用の実態調査を定期的実施し、この結果を「現状俯瞰図」として可視化する取り組みを行う。これにより、「利用実態の見えにくさ」に起因する「XMLに対するユーザーサイドの理解不足や認識不足」の解消に寄与し、XMLの利用を推進する。

- 経済産業省商務情報政策局に当俯瞰図を利用いただくことにより、日本企業の経営層がXML利用の戦略的価値を認識するきっかけ作りを行う。

<2008年度目標> 調査対象拡大に関する検討

2008年度活用実態調査実施と俯瞰図更新

<2009年度目標> 2009年度活用実態調査の実施と俯瞰図更新

「XML白書(仮)」への挿入

(3) 「XML白書(仮称)」の作成

XML利用ないしは検討するに際し、参照できる手軽で一覧性のある資料は、官民を問わず見当たらないのが実情であり、「XMLの普及度が見えない」、「利用事例が判らない」等の一因になっていることは否めない。この現状を打破するために、本会の活動成果をベースとして、XML利用の実態・事例・標準化・技術(概要)に関する情報を網羅した「XML白書(仮称)」の作成を目指す。

主な内容(予定): - 全体動向、標準化動向

- XML現状俯瞰図 (XML活用の実態調査による)

- ビジネスモデル

- 活用事例など 等

<2008年度目標> 内容および担当者/執筆者の決定、データ・素材の収集

<2009年度目標> 執筆活動

(4) 「XML開発ガイド(仮称)」の作成

本会では、部会毎の活動に加え、複数部会の連携による活動を実施している。モデリングから実証実験に至る統合プロジェクト、あるいは、全部会参加型のプロジェクト、あるいは、実証実験プロジェクト等を実施し、その経験、得られた情報、Know-Howを「XML開発ガイド(仮称)」として集大成し、スキルの取得、伝播に寄与することを目指す。

また、気象庁様の気象情報XML化に対する支援をはじめ、製造情報連携フォーラム、JAGAT等の他団体との連携活動を通して得た内容については、「XML開発ガイド-実践編(仮称)」として集大成を目指す。

主な内容(予定): - 技術動向

- XMLデータモデリング

- 開発ツール 等

<2008年度目標> 内容および担当者/執筆者の決定

素材となる活動成果物の作成

<2009年度目標> 素材となる活動成果物の作成

開発ガイドへのとりまとめ

上記は、いずれも本会の特質を十全に活かしつつXML利活用推進を目指す活動として相応しく、かつ、XML技術のエキスパート集団として評価の高い本会だから可能な活動と考える。

【活動形態】

上記活動の遂行にあたっては、次の活動形態から要件に合うものを適宜選択する。

(1) 会全体の取り組みとして体制化し、会のプロジェクトとして遂行するもの

基本方針を実現するに効果的と思われるもの、公共性の高いものを志向する。

(例: XMLコンソーシアムセミナー、XML10周年記念イベント、総務省調査事業に対する情報、知見の提供協力、気象情報XML化支援 等)

(2) 部会を軸に活動を行うもの

部会参加者による自主的・自発的な選定テーマを、理事会承認を受け部会主体で実施するもの

複数の部会が同一のテーマを分担し、合同で実施するもの

(例: iPlat、sPlat、フューチャーWebサイト構想プロジェクト等)

部会活動を基盤にアライアンス・パートナー等の外部団体と協力し活動するもの

(例: 日本道路公団とWebサービス実証部会、iPlat参加7団体とWebサービス実

証部会 + メタデータ部会、旅行業協会とTravelXML標準化部会、製造情報連携フォーラムとセキュリティ部会、日本印刷技術協会(JAGAT)とクロスメディア・パブリッシング部会等)

## 2) 広報・告知の充実

当会独自あるいは他組織・団体と協力した広報・告知活動を継続し、XMLの普及や利用のメリットをアピールし、XMLの利活用推進を目指す。

- (1) XMLはシステムのバックエンドで普通に利用される技術になっているにもかかわらず、システムのユーザーはXMLを使っていることを認識しておらず、XMLの普及がICT利用者には実感されていない。ユーザーがバックエンドを意識せずにシステムを利用するのは自然ではあるが、ICT利用者には、XMLの普及状況、XMLであれば他システムと連携可能であることの認識が広まれば、システム提供側には考えられなかった連携がICT利用者から提起され、XMLの利活用を進展させていくと考えられる。この状況の下、普及啓発を活動目的の一つと掲げている本会は、XMLの利活用状況を広く広報・告知し、連携を始めとするXML利活用のメリットをアピールしていく必要があると考える。
- (2) 広報・告知活動の充実によって、コンソーシアムの活動が十分に理解・評価されるようにし、新規/既存を問わず会員企業として参加するメリットをアピールしていく必要がある。
- (3) 本会の活動に貢献したメンバーに対し、会長表彰を実施するとともに、メディアパートナーの協力も得て、その成果物を広く広報・告知し、個々のメンバーを世の中に紹介して行く。

### 【新規・強化項目】

- ・メディア・パートナー制度の新設（外部への告知、広報の充実）

### 【継続実施項目】

- ・メールマガジンの発行(月次)
- ・成果物の文書化、提言書の発行、書籍/記事の執筆/監修(随時)
- ・活動や成果のプレスリリース(随時)
- ・入会案内の積極的な配布(随時)
- ・活動報告書の発行(年1回、集大成版を作成)
- ・卓越した活動に対する表彰(年1回、総会開催時)

## 3) 会員企業の増強

- (1) コンソーシアムの活動状況や活動成果を世の中に広く理解してもらうことで、新たな会員の増加を図る。
- (2) ユーザー企業向け活動を充実させ、新規会員の参加を促進する。
- (3) 会員の特典とメリットを強化、訴求し、新たな会員の増加を図る。
  - 【会員特典】・人数制限なく部会に参加でき、全ての資料を入手できる。
    - ・本会が主催するセミナー等に、人数制限なく無料参加できる。
  - 【会員メリット】・会員限定公開の資料を入手、利用することができる。
    - ・業界、企業、組織を超えた人的交流の場が持てる。
    - ・多種多様な経験と知識を有する仲間と交流し助言を得られる。
    - ・会員専用のSNSにより、会員間で自由な情報交換ができる。
    - ・スキル育成の場、若手育成の場として活用できる。
    - ・セミナー、Day、Week等での発表経験を通し、プレゼンテーション能力の向上が図れる。
- (4) 新会員の勧誘活動に加え、既存会員向けの施策を強化する。
  - ・特に経営層や部会活動者の上司に対し、会員継続のメリットをアピールする。
  - ・会員企業における会員企業であることの認知を強化し、所属社員が参加しやすい仕組み作りを目指す。

#### 4) 外部組織・団体との協業

外部組織、団体との従来からの良好な協業関係を維持するとともに、本年度よりLinux  
コンソーシアムとアライアンスを締結し、新世代のリッチクライアント、エンタープライズ向け  
Web2.0 関連のデモ・アプリケーションの試作および実証実験を通して連携・協調を  
図る。

##### ・アライアンスパートナー

XBRLJapan  
次世代電子商取引推進協議会  
製造業 XML 推進協議会  
社団法人 日本旅行業協会  
特定非営利活動法人 UML モデリング推進協議会  
ものづくり APS 推進機能 / PSLX フォーラム  
XML 技術者育成推進委員会  
社団法人 日本印刷技術協会  
Linux コンソーシアム

##### ----- ・気象防災情報 XML 化支援

気象庁

##### ・知見、情報の提供

経済産業省 商務情報政策局 情報政策課  
総務省 情報通信政策局 地域情報化推進室

##### ・標準化支援

社団法人 日本旅行業協会

##### ・Web サービス実証実験

財団法人 日本道路交通情報センター

##### ・セキュリティーに関する知見、情報の提供

製造情報連携フォーラム

##### ・マーケティング活動支援

WS-I JSIG

OMG

DOPG

##### ・情報交流・交換

W3C

慶応義塾大学 SFC 研究所

情報処理学会デジタルドキュメント研究会

ビジネスモデル学会

#### 体制

##### 1) 会員制度・資格

現行通りとする。

##### 2) 組織、体制

現行通りとする。

##### 3) 部会

・各部会は、XMLの利活用促進を目指す活動によりシフトし、活動展開を図る。  
(詳細:付属資料)

注: 2008年度部会活動の内容は、6月2日~6日に開催される「XMLコンソー  
シアムWeek」にて各部会リーダーより紹介。

・ユビキタスWeb部会は、所定の目標を達成し部会の総意により活動を終了する。

・下記の部会については、標準仕様の更改予定が当面ないことから、活動を一時  
休眠し、必要時に活動を再開することとする。

TravelXML標準化部会

ContactXML部会

コンテンツ利用情報標準化部会

- 4) 勉強会  
 ・XML関連の旬のテーマについては、新規勉強会で取り上げ、会員企業と市場のニーズに迅速な対応を行う。  
 ・「内部統制に対しXMLはどのように活かせるか」をテーマに活動してきた内部統制勉強会は6月開催のWeekにて活動報告を行い、活動を終了する。
- 5) 運営委員会  
 次期検討委員会を継続し、2010年度以降のあり方について継続検討を行い、理事会提案をまとめる。

## 2. 2008 年度年間主要活動計画

### 年次総会

2008年5月23日 第8回総会・理事会・懇親会  
 (2009年6月上旬 第9回総会・理事会・懇親会)

### 月次

運営委員会  
 部会リーダー・ミーティング  
 部会別月例ミーティング  
 XML コンソーシアムメールマガジンの発行

### 随時

理事会  
 運営委員会 各担当別ミーティング  
 次期検討委員会

プレスリリースおよびプレス取材対応  
 書籍や記事の執筆活動  
 他団体との交流会、情報交換会 等  
 ホームページ更新作業

### 定期開催イベント・セミナー

部会成果発表会  
 (2008年6月2~6日 第7回部会成果発表会(XML コンソーシアム Week))  
 2008年12月中旬 第10回部会中間成果発表会(XML コンソーシアム Day)  
 2009年5月中旬~6月上旬 第8回部会成果発表会(XML コンソーシアム Week)

### 随時開催セミナー・イベント

XMLの先進技術動向とXMLの利活用の現状をテーマとして、適宜かつ柔軟に様々な内容を取り上げる。なお、XML関連団体やメディアパートナーとの連携を図りながら開催する。

#### XML コンソーシアムセミナー

XMLを切り口としたテーマを設定し、その時々最新の最新情報や活動に関連する内容を適宜ピックアップし、セミナー形式にて情報発信を行う。

下記テーマを組み合わせ、半日~1日のセミナーを開催する。

- テーマ候補:
- ・部会、勉強会活動をベースにし、さらに拡大したテーマによるセミナー
  - ・標準化団体による技術動向、業界別標準化動向
  - ・最新XML関連キーワード解説
  - ・会員会社による自社製品・ソリューション紹介
  - ・XMLをつかったビジネスシステムへの応用事例
  - ・XMLマスター試験対策セミナー(ベーシック/プロフェッショナル/DB)

#### 外部主催イベントへの協力

外部主催の催事に対しセミナー講師派遣など実質的な活動を行い、XML関連技術の普及活動を行う。外部主催のイベントへの協賛・後援・協力 等への対応も随時行う。

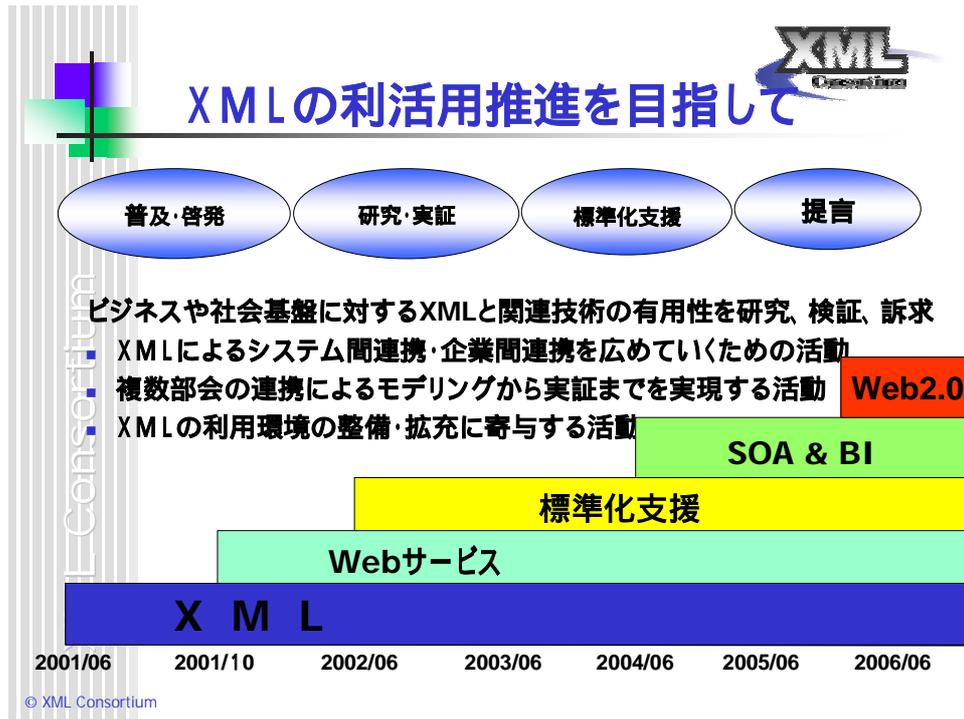
注1:外部とは、会員会社、他団体およびイベント会社を指す。

注2:催事とは、展示会やセミナー、企業主催のプライベートイベント等を指す。

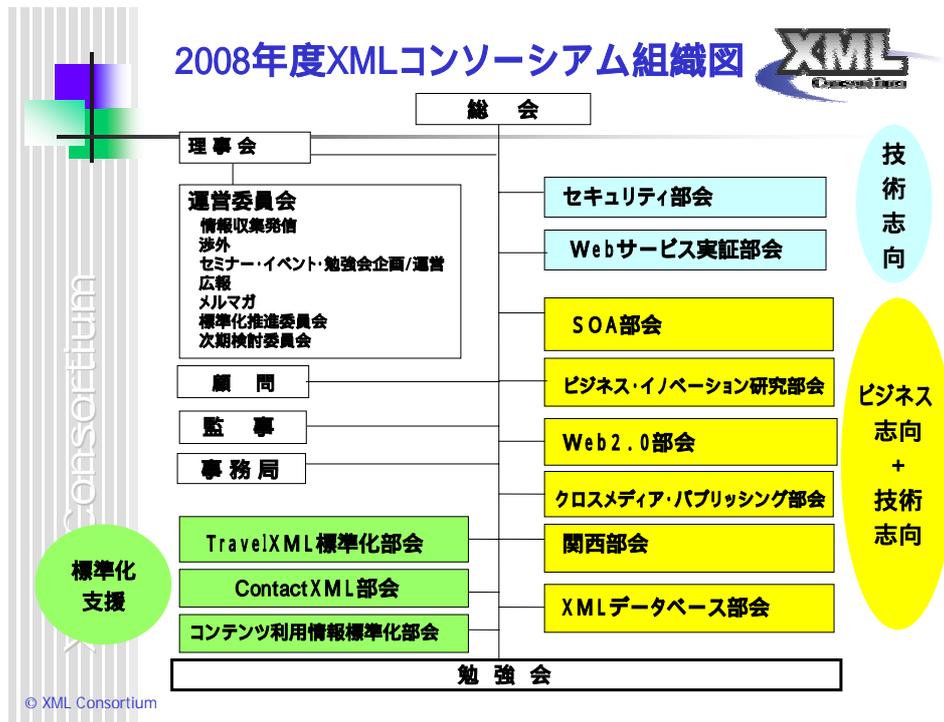
<参考> 2008年度の月別セミナー・イベント スケジュール計画案

- ・ 5月…第8回総会
- ・ 6月…XMLコンソーシアム Week(部会活動成果発表会)  
    関西 Day
- ・ 7月…XMLマスター試験対策セミナー(ベーシック)
- ・ 9月…XMLコンソーシアムセミナー
- ・ 10月…XMLマスター試験対策セミナー(プロフェッショナル)
- ・ 11月…XMLコンソーシアムセミナー
- ・ 12月…XMLコンソーシアム Day(部会活動中間報告)
- ・ 2月…XMLコンソーシアムセミナー
- ・ 3月…XMLマスター試験対策セミナー(DB)
- ・ 5月…XMLコンソーシアム Week(部会活動成果発表会)
- ・ (6月…第9回総会)

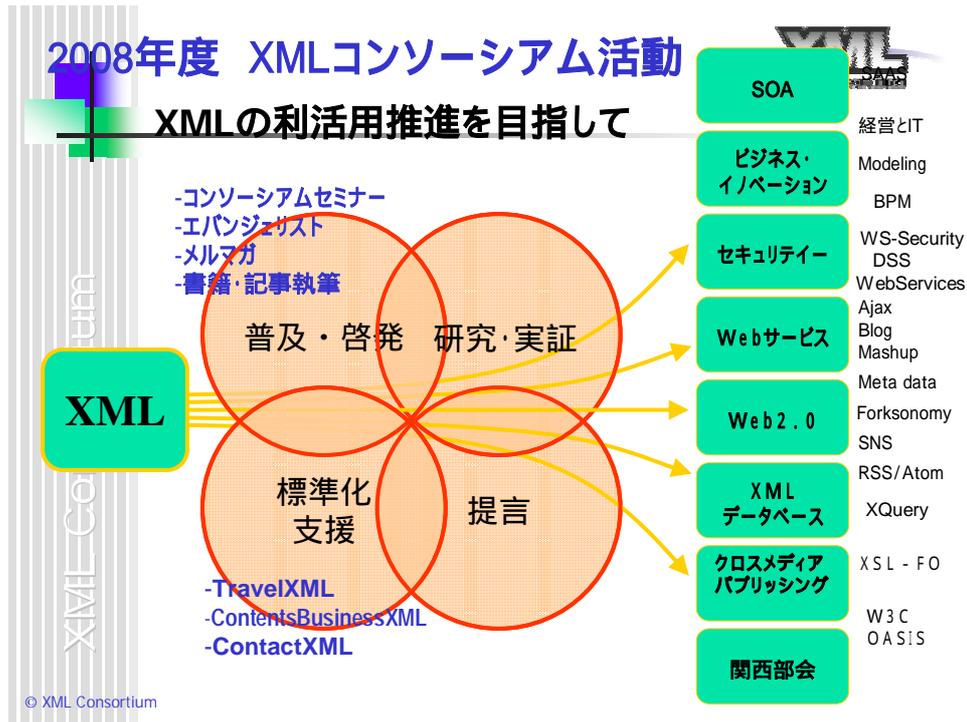
参考図1:



参考図2:

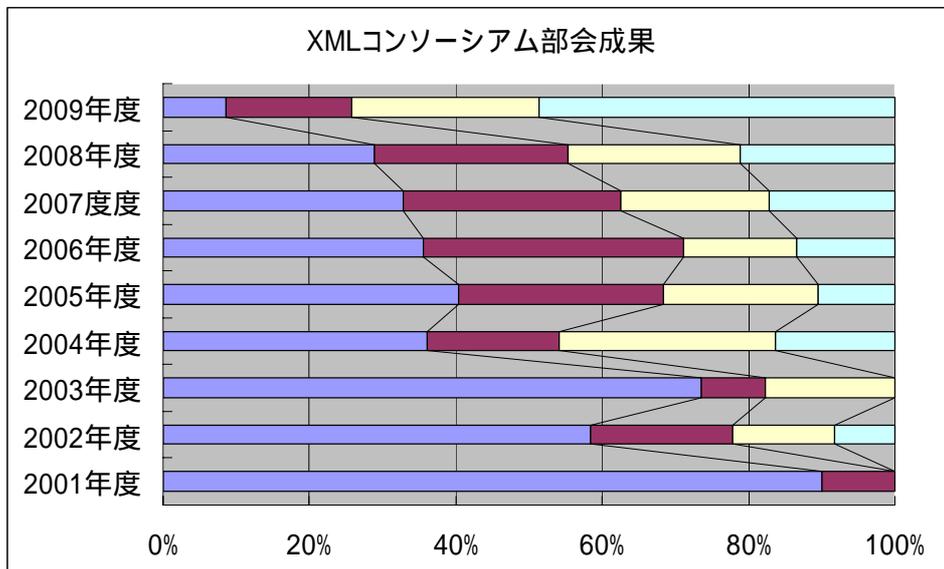


参考図3:



参考図4:

2001年度～2007年度 実績値  
 2008年度～2009年度 計画値



## 第5号議案

2008年度予算計画承認の件

XMLコンソーシアム

## 1. 予算計画

	2007年度 実績	2008年度 予算案	備考
<b>収入の部</b>			
前期繰越金	4,274,736	4,357,942	
年会費	15,950,000	15,500,000	企業会員 10万円×155社
セミナー参加費	158,000	50,000	2千円×25名
雑収入	16,602	0	受取利息等
<b>収入の部合計</b>	<b>20,399,338</b>	<b>19,907,942</b>	

<b>支出の部</b>			
総会開催費	720,331	800,000	資料印刷費、懇親会費用等 会場は会員会社会場を使用
セミナー開催費	304,187	600,000	資料印刷費用、講師謝礼/飲み物代等: 10万円×6回
成果発表会開催費	759,225	1,000,000	資料印刷費用、設備費等: 50万円×2回
Web サイトリニューアル費	0	1,600,000	サイトリニューアル費用
サーバー運用費	1,926,750	2,150,000	新サーバー運用費用:140万円、現サーバー運用費用:75万円
部会・推進委員会支援金	0	500,000	部会、標準化推進委員会活動支援
メルマガ制作費	840,000	840,000	7万円×12回
活動報告書制作費	165,375	200,000	セミナー、成果発表会資料のCD制作費用
業務委託費	10,080,000	10,080,000	事務局業務委託費用:84万円×12ヶ月
通信費・車両運搬費	499,122	540,000	TEL/FAX、郵便、宅急便等の費用: 4.5万円×12ヶ月
旅費交通費	116,390	120,000	事務局交通費:1万円×12ヶ月
事務消耗品費	338,166	480,000	コピー費用、事務用品等:4万円×12ヶ月
雑費	291,850	410,000	外注費用:20万円、振込手数料等:6万円、理事会費用:15万円
予備費	0	587,942	
次期繰越金	4,357,942	0	
<b>支出の部合計</b>	<b>20,399,338</b>	<b>19,907,942</b>	

**第6号議案**

**2008年度 理事 / 監事選任の件**

**XMLコンソーシアム**

## 1. XML コンソーシアム役員構成

(敬称略 会社名ヨミ順)

(新任):今総会にて新任

(交代):昨年度総会以降および今総会での交代

### 【会長】

鶴保 征城 (ツルホ セイシロ)

会社名: 独立行政法人 情報処理推進機構

役職: ソフトウェア・エンジニアリング・センター所長

### 【副会長】

平野 洋一郎 (ヒラノ ヨウイチロウ)

会社名: インフォテリア株式会社

役職: 代表取締役社長

田原 春美 (タハラ ハルミ)

会社名: 日本アイ・ピー・エム株式会社

役職: ソフトウェア事業 エマージング・テクノロジープログラム担当 部長

### 【理事】

野口 好博 (ノグチ ヨシヒロ)

(新任)

会社名: アドソル日進株式会社

役職: 上席執行役員 生産技術部長

下川 和男 (シモカワ カズオ)

会社名: イースト株式会社

役職: 代表取締役社長

平野 光徳 (ヒラノ ミツノリ)

会社名: NTTコムウェア株式会社

役職: 研究開発部 担当部長

柴垣 育 (シバガキ ヒトシ)

会社名: NTTソフトウェア株式会社

役職: 技術センター所長

山本 修一郎 (ヤマモト シュウイチロウ)

会社名: 株式会社NTTデータ

役職: 技術開発本部 システム科学研究所長

後藤 和彦 (ゴトウ カズヒコ)

(交代)

会社名: 株式会社大塚商会

役職: マーケティング本部 テクニカルプロモーション部 執行役員

九里 禎久 (クリ ヨシヒサ)

(交代)

会社名: サン・マイクロシステムズ株式会社

役職: マーケティング統括本部 執行役員 統括本部長

浮川 初子 (ウキガワ ハツコ)

会社名: 株式会社ジャストシステム

役職: 代表取締役専務

弓削 哲也 (ユゲ テツヤ)

会社名: ソフトバンクテレコム株式会社

役職: 専務取締役専務執行役員 兼 CTO 研究本部長 兼 渉外部担当

天野 勝之 (アマノ カツユキ)

会社名: 東京エレクトロン デバイス株式会社

役職: 執行役員 CN事業本部 事業本部長

守安 隆 (モリヤス タカシ)  
会社名: 東芝ソリューション株式会社  
役職: IT技術研究所 参事

高島 洋典 (タカシマ ヨウスケ) (交代)  
会社名: 日本電気株式会社  
役職: サービスプラットフォーム研究所長

鈴木 俊宏 (スズキ トシヒロ)  
会社名: 日本オラクル株式会社  
役職: 製品戦略統括本部 スタンダードストラテジー & アーキテクチャー シニアディレクター

小川 豊 (オガワ ユタカ) (交代)  
会社名: 日本ユニシス株式会社  
役職: 執行役員 総合技術研究所長

寺田 嘉明 (テラダ ヨシアキ) (新任)  
会社名: PFUソフトウェア株式会社  
役職: 経営執行役

三分一 信之 (サンブイチ ノブユキ)  
会社名: 株式会社日立システムアンドサービス  
役職: 研究開発センタ 主管技師長

吉野 松樹 (ヨシノ マツキ) (交代)  
会社名: 株式会社日立製作所  
役職: ソフトウェア事業部 企画本部 主管技師長

前澤 裕行 (マエザワ ヒロユキ)  
会社名: 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社  
役職: 執行役常務 技術開発本部長

菅沼 嘉毅 (スガヌマ ヨシタケ) (交代)  
会社名: 富士ソフト株式会社  
役職: IT事業本部テクニカルC & C部 部長

弘末 清悟 (ヒロスエ セイゴ)  
会社名: 富士通株式会社  
役職: ソフトウェア事業本部 技師長

上野 守生 (ウエノ モリオ)  
会社名: 株式会社プロネクサス  
役職: 代表取締役社長

加治佐 俊一 (カジサ シュンイチ)  
会社名: マイクロソフト株式会社  
役職: 業務執行役員 最高技術責任者

飯沢 篤志 (イイザワ アツシ) (交代)  
会社名: 株式会社リコー  
役職: 研究開発本部 ソフトウェア研究所 ソリューション研究室 室長

#### 【監事】

早瀬 雅之 (ハヤセ マサユキ)  
会社名: 株式会社ジャストシステム  
役職: 社長室 部長

水谷 学 (ミズタニ マナブ)  
会社名: ビー・シー・イー株式会社  
役職: 代表取締役社長

以上

< 参考 >

(敬称略 会社名順)

〔運営委員会〕

アドソル日進株式会社	荒本 道隆
イースト株式会社	藤原 隆弘
インフォテリア株式会社	平野 洋一郎
NTTソフトウェア株式会社	妹尾 正身
株式会社NTTデータ	遠城 秀和
株式会社大塚商会	都志 陽介
株式会社ジャストシステム	澤崎 章二
ソフトバンクテレコム株式会社	岡廻 隆生
東京エレクトロン デバイス株式会社	松永 豊
東芝ソリューション株式会社	舟城 亮一
日本電気株式会社	島村 栄
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美 (運営委員会議長)
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏
日本ユニシス株式会社	牧野 友紀
PFUソフトウェア株式会社	松山 憲和
株式会社日立システムアンドサービス	村垣 委久夫、田中 一義
株式会社日立製作所	坂川 浩二郎、大場 みち子
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	久保田 仙
富士通株式会社	袴田 眞史

〔担当〕

情報収集発信

東芝ソリューション株式会社	舟城 亮一
株式会社日立システムアンドサービス	村垣 委久夫 (リーダー)、田中一義
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	久保田 仙

渉外

イースト株式会社	藤原 隆弘 (リーダー)
ソフトバンクテレコム株式会社	岡廻 隆生
東京エレクトロン デバイス株式会社	松永 豊
日本電気株式会社	島村 栄
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美

セミナーイベント企画

インフォテリア株式会社	平野 洋一郎
NTTソフトウェア株式会社	妹尾 正身 (Week、Day)
株式会社ジャストシステム	澤崎 章二 (サブリーダー)
日本電気株式会社	島村 栄 (Week、Day)
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美
株式会社日立製作所	坂川 浩二郎 (リーダー)、大場 みち子 (Week、Day)

広報

インフォテリア株式会社	平野 洋一郎 (リーダー)
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏

メルマガ

日本電気株式会社	島村 栄
日本ユニシス株式会社	牧野 友紀
富士通株式会社	袴田 眞史 (リーダー)

標準化推進委員会

インフォテリア株式会社	平野 洋一郎
株式会社 NTT データ	遠城 秀和 (リーダー)
日本電気株式会社	島村 栄
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏

【事務局長】

富士ソフト株式会社	野田 博正
-----------	-------

【部会・勉強会リーダー】

SOA部会	日力 俊彦(日本アイ・ピー・エム株式会社)
ビジネス・イノベーション研究部会	牧野 友紀(日本ユニシス株式会社)
セキュリティ部会	松永 豊(東京エレクトロン デバイス株式会社)
Webサービス実証部会	松山 憲和(PFUソフトウェア株式会社)
Web2.0部会	野村 直之(メタデータ株式会社)
クロスメディア・パブリッシング部会	藤原 隆弘(イースト株式会社)
関西部会	芦田 尚人(株式会社ブレインワークス)
XMLDB部会	加藤 哲義(株式会社ジャストシステム)
内部統制勉強会	梅田 伸明(株式会社NTTデータ)

以上